

有機農業推進フォーラム（概要）

みどりの食料システム戦略に基づく持続可能な農業生産に向け、有機農業を拡大していくためには、担い手の確保・育成や消費者への理解を深める取組が必要です。

本フォーラムでは、農業者や消費者へ有機農業、有機農産物の価値を伝え、関心を高めてもらうための方策について基調講演、パネルディスカッションを行いました。

フォーラム内容

- 開催日：令和5年12月1日(金)
13:30～16:10
- 方法：オンライン
- 参加者：94人



パネリストの商品展示



開催チラシ



フォーラムの様子

基調講演「多様性時代の食と農の繋がり方」

有限会社コートヤード 代表取締役 新田 美砂子 氏

- ◆ 世界や日本の有機農業の取組面積及び有機農産物の市場規模が拡大傾向にあり、社会の意識が大きく変わっている。環境負荷の軽減という点から有機農業が推進されつつある。
- ◆ 有機農業を推進するためには、「これまでの考え方・やり方をリセット」、「ゆるく繋がる」等のポイントの他、単に農業政策としてではなく、地域政策の視点が必要。

パネルディスカッション「あなたの行動から日本の農業は変わる」

パネリスト

有限会社佐々木農場 代表取締役

佐々木 一郎 氏

光食品株式会社 代表取締役社長

島田 光雅 氏

株式会社良品計画 無印良品イオンモール岡山 土着担当

寺坂 加奈子 氏

有限会社コートヤード 代表取締役

新田 美砂子 氏

中国四国農政局 生産部長

足立 整

コーディネーター

中国四国地域環境保全型農業・有機農業推進連絡会議 会長 駄田井 久 氏
(岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授)

- ◆ 生産、加工、販売、各々の立場からの想い、今後の課題等の意見交換を実施。
- ◆ 参加者の大学生から「同世代は環境を意識している者が多い」等の発言があった。
- ◆ パネリストから、今後の課題として、物流の集約化や後継者の対策が必要と発言があった。